

令和 4 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	ふたみシーサイド公園管理運営事業	会計名称	一般会計		担当課	商工観光課	
		予算科目	7 款 1 項 5 目	事業番号	3320	所属長名	岡井隆治
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	福岡潤	
法令根拠等	伊予市ふたみシーサイド公園条例				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造 賑わいのある観光の振興					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	地域資源を生かした観光づくり						
事業の対象	市民等			事業の目的	伊予市内の観光振興の重要拠点として、市内観光情報の提供や特産品等の展示販売を行い、年間を通じてイベントの開催や情報発信を行う。		
事業の内容 (整備内容)	指定管理制度に基づき、管理運営及び施設の整備を図る。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	昨年度の課題を解決するために、指定管理者との定例会を行うこととした。定例会では、施設の運営状況、改修を要する箇所等について報告いただき、計画的な修繕・ニーズに合った施設改修を行うことで、利用者が施設を快適かつ安全に利用できるように努めていく。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	4年度予定	9月末の実績	4年度実績
直接事業費	12,296	14,211	0	0	0	13,755	観光入り込み客数	人	239170	200000	121342	218000
財源内訳												
国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0						
一般財源	12,296	14,211	0	0	0	13,755						
職員の人工(にんく)数	0.00	0.20				0.20						
1人工当たりの人件費単価	7,841	7,794				7,794						
※ 直接事業費+人件費	12,296	15,770				15,314						
主な実施主体	株式会社フジ・トラベル・サービス		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		指定管理料(6,694千円)、委託料(5,834千円)、工事請負費(1,012千円)							
向こう5年間の直接事業費の推移(千円)					5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	5年間の合計		
					15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	75,000		
成果指標	指標	観光入り込み客数	単位	人	⇒	区分年度	前年度	4年度	5年度	目標	毎年度	
	指標設定の考え方	施設活用の効果の判断基礎となる施設利用者数の総計				目標		218000	218000	218000		
	指標で表せない効果	来園者による市産品の販売や市ブランド品の購入による地域内の経済循環であったり、道の駅の機能の一つである道路利用者の休憩場所としての役割を果たしている。				実績		218000				

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		新型コロナウイルス感染症の影響により、利用制限がかかるなか、突発的に起こった問題に臨機応変に対応し指定管理者との定期的な情報共有に努める。																		
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	4	合計点が	A	事業成果・工夫した点	施設のイトインコーナー箇所雨天時に雨水によりお客さんが利用しにくい状況だったため、雨水排水工事を実施し、雨天時の利用に対する不安を解消することができた。現指定管理者は接遇面、危機管理面で適切な対応を講じており、信頼関係が築けている。											
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1						5 4 3 2 1	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D								
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1						5 4 3 2 1			3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	4	合計点が			A	事業の苦勞した点・課題	指定管理者組織の運営上、協定書から読み取り切れない部分での対応が難しく、今後も指定管理者と綿密な協議で管理運営を図っていく必要がある。また、テナントと管理者との経営上の溝が見受けられるため、行政も含めて定期的な話し合いが必要。									
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1								3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D							
			施策への貢献度	5 4 3 2 1																
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	4	合計点が	A	事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 道の駅ふたみとして、今後も必要な施設である。												
		コスト効率	5 4 3 2 1						4			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D								
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1										3							
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	4	合計点が	A			事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 道の駅ふたみとして、今後も必要な施設である。									
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1								5 4 3 2 1	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1								5 4 3 2 1								
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	3	合計点が	A	所属長の課題認識	リニューアルから2年目となり、指定管理者の管理に一定の落ち着きが見られる一方、関連業者との課題も見られることから、定期的な状況把握や意見交換が必須である。今年度から開始した定例会を引き続き実施し、適切な管理ができるよう進めること。												
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1								4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D								
		施策への貢献度	5 4 3 2 1										3							
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	A	所属長の課題認識			リニューアルから2年目となり、指定管理者の管理に一定の落ち着きが見られる一方、関連業者との課題も見られることから、定期的な状況把握や意見交換が必須である。今年度から開始した定例会を引き続き実施し、適切な管理ができるよう進めること。				
	コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1								3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1										3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
			地域住民や利用者のニーズを的確に捉え、指定管理者との情報共有に努め、満足度の向上を図ること。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。			

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	